

史料群番号 25

史料群名	おおわ しょうえもん 大輪庄右衛門家文書	旧所蔵者	大輪庄右衛門
探訪時住所	茨城県行方郡行方村五町田		
現在の住所	茨城県行方市五町田		
探訪年月	昭和26（1951）年7月		
史料の年代	元禄4（1691）年～明治16（1883）年	史料の 総点数	33点
年代の内訳	近世 7点/近代 26点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類に寄贈と記されている。史料の点数は16点とあるが、現在中央水産研究所には33点の史料が収蔵されている。同家史料群に他家の史料が混入しているとは考えられないので、点数の差異は整理の仕方によるものと思われる。探訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

探訪地の行方村五町田（ごちょうだ）は、近世から明治22年まで常陸国行方郡五町田村で、その後行方村に含まれ、昭和30年に麻生町となり、平成17年に行方市となった。
近世の五町田は、霞ヶ浦四十八津のひとつにあげられ、河岸問屋の拠点のひとつだったが、大輪家は近世五町田村の名主を勤めたと考えられる。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

